藤ケ瀬横井家と霊松山西音寺（れいしょうざんさいおんじ）

東海大橋の東側に位置する愛西市藤ケ瀬町の西隅に、藤ケ瀬横井家の菩提寺である浄土宗西山派霊松山西音寺はあります。ここに、横井也有は歴代の祖先とともに眠っています。

霊松山西音寺は、永禄 4 年に藤ケ瀬横井家の始祖である時朝によって創建されました。その頃は、濃州の立政寺の末寺でしたが、住職が西山派粟生光明寺へ移ったのを機に、天和 2 年に光明寺直寺になりました。

境内に鎮守の長松があり、ある時、この松を伐採したところ、即気絶し、その切り口から血のような赤い汁が出てきたといういわれから、霊松山という号を賜りました。

也有も法事などで、度々、この西音寺を訪れて、53 歳（宝暦 4 年）の時には、「遊西音寺」という詩を、54 歳（宝暦 5 年）には、「遊霊松山」という詩を詠んでいます。

藤ケ瀬横井家墓所

横井也有墓碑

霊松山西音寺